

空 間 表 現

問 題

2025年度

〈R 07190017〉

注 意 事 項

1. この試験では、この問題冊子のほかに、解答用紙を配付します。
2. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないでください。
3. 問題は3ページに記載されています。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄（表側のみ、縦使い）に、黒鉛筆（濃さは自由）で描き、所定欄外には何も記入しないでください。
5. シャープペンシルは使用しないでください。また、スケッチ用器具、定規等も使用しないでください。
6. 解答用紙記入上の注意
 - (1) 解答用紙の所定欄に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入してください。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合があります。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入してください。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにしてください。
9. 問題冊子は持ち帰ってください。
10. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。

問 動きのある対象を、空間とともに描きなさい。

動きそのものは静止画では表すことはできない。しかし、描写の表現によっては見る人の心情を揺さぶり、そこに動きを感じさせることができる。そのような対象を選び、いかにも動いているかのように創造的に表現を工夫して描きなさい。

例えば、マルセル・デュシャンの作品「階段を降りる裸体」では、動きは身体そのものを描くのではなく、身体の動きのみを連続的に表現することで描いている。あるいは、葛飾北斎の「富嶽三十六景」のうち「神奈川沖浪裏」では、小舟の前に高く渦巻く波が、富士山を奥に望む劇的な構図で描かれている。

対象は、物体でも生き物でも、人物や風景でも構わない。また動きの緩急も問わない。ただし、漫画に見られるような、実際に視認できない説明的な記号表現は使用してはならない。

あわせて文字による説明はせず、表現としての光のコントラストを最大限に活かして、陰影を施し、立体的に描きなさい。

解答はすべて解答用紙の所定欄（表側のみ、縦使い）に描き、自由にレイアウトして構わない。ただし、所定欄外には何も記入しないこと。

〔以 下 余 白〕

(注) こちらの面が表側です。この点線より上に解答を記入して下さい。

(注) 用紙は縦使いとし、この欄を下側にすること。

採	点	欄
8	8	

B

〈2025 R 07190017〉

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

受 験 番 号	万	千	百	十	一
8	8	8	8	8	8

氏 名	
--------	--

A

〈2025 R 07190017〉